ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成24年 No.245 5月号

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

理解に苦しむ小沢氏の処分解除
国民感情に沿った控訴の決断

もはや自浄能力のない政府民主党

4月26日、東京第5検察審査会によって強制起訴されていた小沢一郎氏に東京地方裁判所は無罪の判決を下した。といっても完全な白ではなく、限りなく黒に近く、灰色であるようだ。法律的には白だが、政治的には黒ということになる。今回の判決には多くの国民は釈然としていない。しかも民主党は、検察官役の指定弁護士が控訴する期限が5月9日となっているのに、その日を待たず、早々に小沢氏の党員資格停止処分解除に踏み切った。軽率であり、世論を無視したやり方で、民主党には全く自浄能力がないことが明らかになった。処分解除は輿石幹事長が中心になって進めたとは言え、最終的には野田代表の決断である。野田首相には国の指導者としての見識が欠けていると言わざるを得ない。小沢氏は勿論のこと、野田首相にも1日も早く退陣してもらわなくてはならない。

素早い行動
竜巻で大きな被害を受けた茨城県つくば市を視察、地元から要望を受ける谷垣自民党総裁

恒心

★大阪の泉佐野市は関西国際空港の所在市であり、開港に伴い、大型公共投資が行われたが、長引く経済不況で、事業が進展せず、非常に厳しい財政状況で、財政健全化団体となった。背に腹は変えられないと、泉佐野市の名前を売り渡し、財源を確保する方針を決めた。泉佐野市は命名権を売り、どれぐらいの収入を目論んでいるのか。★泉佐野市は明治以来、周辺の町と町村合併を繰り返し、今日の市の名前となった。市の名前をどうするか、色々な議論があったことと思う。そのときの経緯、先人の思いを考慮することなくして、安易に大事な町の名前を消してはならない。泉佐野は中世以来の村の名称「佐野」に旧和泉国の国名を冠したと言われている。★地名には歴史的な由来が必ずある。そこに住む住民はそんな歴史や由来を大事にし、町名に愛着を感じ、誇りにしている。昭和40年、弥生式土器が発掘された東京都文京区弥生町では郵便番号が導入された時、町名が消え去る危機があった。それに反対した住民が訴訟を起し、町名が存続された経緯がある。★民俗学者柳田国男の「日本の地名」の中で、日本には膨大な数の地名があり、地名は必ず一つの意味を持ち、また土地の事情、性質を表し、日本人名字の起源でもあると書かれている。どこの自治体も財政難に陥っている。それでも先祖が育んできた歴史を簡単に放り投げては困る。★京都でも西京極野球場が「わかさスタジアム京都」となっている。この名前も京都人には今ひとつしっくりこない。日立製作所、豊田自動車の城下町が、企業名を冠して日立市、豊田市としている。しかし自治体の名前そのものを売るという話は聞いたことがない。

二ノ湯議員日比親善議員連盟総会に参加

比政界の要人と会談

日本・フィリピン友好議員連盟に入会している超党派の議員17名が、５月の連休を利用して、２日～５日の日程で、日比親善議員連盟総会に出席のために、フィリピンの首都マニラを訪問した。フィリピンは過去の大戦で51万人の日本兵、100万人の比人が犠牲となったが、その悲劇を乗り越え、フィリピンは今や最も親日的、協力的な国である。わが国と深い人的つながりがあり、在日比人は約21万人、在比邦人は約１・８万人もいる。フィリピンはわが国と基本的価値観、戦略的利益を共有しており、「戦略的パートナーシップ」の関係を推進している。多くの日系企業が進出しており、2008年12月には日本・フィリピン経済連携協定が発効するなど、日本と密接な経済関係を有している。1999年から経済成長を続けており、安い優秀な労働力で、今後の経済発展が大きく期待されている。フィリピン共和国アキノ大統領は、昨年９月25日から28日までの日程で日本を公式訪問した。滞在中アキノ大統領は、天皇陛下と会見したほか、東日本大震災の被災地である宮城県石巻市を訪問した。二ノ湯議員にとってフィリピン訪問は昭和59年に野中広務後援会主催の「戦没者慰霊の旅」以来であった。

パルドス労働雇用大臣　看護師、介護福祉士の受け入れについて意見を交わす（労働雇用省）

日比議員連盟のマニラでの日程

3泊4日と短いマニラ滞在ではあったが、暑い中、早朝から夜まで、かなり厳しいスケジュールをこなした。日程は表の通りである。

５月２日㈬

・関西国際空港発・・マニラ着
・オチョア官房長官
・フィリピン沿岸警備隊視察
・第1回日比友好クラブ

５月３日㈭

・バルドス労働雇用大臣
・ベルモンテ下院議長を表敬
・アキノ大統領を表敬訪問
・卜部（うらべ）大使による現地情勢説明会

５月４日㈮

・日比友好議員連盟総会
・エンリレ上院議長主催昼食会
・両国会長による共同文書署名・交換
・マリオ・モンテホ科学技術大臣
・在日フィリピン大使主催夕食会
・「まにら新聞」記者との意見交換会

５月５日㈯

・ピメンテル上院議員との朝食会
・マニラ発・・関西国際空港着

オチョア官房長官に地上デジタルテレビ放送の日本方式採用を要望

日本代表団・アキノ大統領を表敬訪問
大統領忙しい合間を縫って歓迎

５月３日、日本代表団はマラカニアン宮殿にアキノ三世フィリピン共和国大統領を表敬訪問した。大統領は2010年５月の大統領選挙で、約４割の得票で圧勝した。就任以来、不正・汚職撲滅、ミンダナオ和平、教育、雇用創出、行財政改革など内政の重点的課題に取り組んでいる。他方、外交面では、南シナ海のスカボロー礁における中国漁船の活動をめぐって対立、全ての中国漁船は現場を立ち去っているが、フィリピン・中国の艦船が対峙する厳しい状況が続いている。その対応に追われて大変忙しい合間を縫って、アキノ大統領は日本側代表団と応対、約１時間ほど両国間の課題について意見を交わした。議連代表団との主な会談内容は次の通りである。

★議員交流、戦略的パートナーシップの推進★貿易・投資関係の促進★対比経済協力の拡大★看護師・介護福祉士候補者の受け入れ★地上デジタルテレビ放送の日本方式の採用★中国・南シナ海情勢★在沖米軍海兵隊の訓練にフィリピン基地を提供

アキノ大統領と日本側代表団　マラカニアン宮殿で

比日・日比友好議員連盟総会
議員交流の重要性を認識

5月4日、マニラホテルで日本側12名、フィリピン側12名の国会議員が参加して、合同総会が開催された。フィリピン側からはドリロン上院議員、日本側からは石井一参議院議員が両国を代表して挨拶をした。その後、第1分科会(経済分野の互恵関係の強化及び人的交流の促進)、第2分科会(政治・安全保障分野の信頼関係強化)に分かれて各議員が、約2時間30分にわたって、意見を交換した。

各議員からの発言内容は次の通りである。◎東日本大震災に比側からの援助に対する御礼◎貿易・投資の促進(ビジネス環境整備及び経済協力◎経済開発援助を利用したインフラ整備の推進(官民パートナーシップ)◎フィリピンからの看護師・介護福祉士候補者受け入れの拡大◎地上デジタルテレビ放送の日本方式採用◎地域情勢(南シナ海を含む)の情報交換・共有の必要性

日比友好議員連盟総会に臨む

ミャンマー大統領と会談
人材交流、経済援助で意見交換

日本を訪問中のミャンマーのテイン・セイン大統領は4月23日、忙しい日本滞在の日程の中で、日本ミャンマー議員連盟の中村博彦、二ノ湯智、佐藤信秋の3人の参議院議員と都内のホテルで面談した。日本側から、今後の社会・経済構造改革、市場経済化等を担うミャンマーの「人材育成」のために「日本・ミャンマー人材交流機構」を提案、大統領からは空港をはじめ社会基盤整備のために日本の資金、技術の援助をぜひ求めたいと要望があった。ミャンマー政府はタイ、ベトナムなどの周辺諸国と同様、日本をはじめ欧米先進国の資本を導入して経済発展をはかるために、民主化路線に大きく舵を切っている。ミャンマーは旧国名をビルマと言い、親日的である。第二次世界大戦では激戦地となり、中でもインパール作戦では多くの日本人兵士が犠牲となった。

テイン・セイン大統領と

京都市会　新議長に大西氏を選出

京都市会は5月16日、井上与一郎京都市会議長の後任に、大西均(62才、左京区選出)を第79代議長に選出した。大西氏は昭和56年から司法書士として活躍、平成3年の統一選挙で自民党推薦で初当選を果たした。一度苦杯を喫したために、現在までに5期当選。市会交通水道委員長、予算決算特別委員長を務め、今やベテラン議員の一人である。人間は至って正直、裏表のない性格である。当選直後から、歯に衣着せず発言、常に正論を吐く議員として活躍してきた。それが時には誤解を受けて、自民党らしくない、あるいは与党の議員としてはどうかという批判も浴びてきたが、それがまた大西氏の真骨頂でもある。ただ議長は京都市会議員69名を代表する顔でもある。時には発言を抑え、まとめる努力もしなければならない。氏の個性からいって、かなりつらい議長職かもしれないが、隠忍自重して議長としての職責を全うし、議会の権威を高めるために頑張ってもらいたい。

市会本会議場で就任挨拶をする大西議長

'12 夏まつりのご案内

参議院議員 二ノ湯さとし　京都府議会議員 二ノ湯しんじ　後援会合同夏祭り

ご好評いただいております恒例のビアパーティを開催いたします。
是非ともご参加ください!!

日時 8月1日(水) 16:00▶21:00　16:00から20:30まで自由に入場できます。
ごあいさつ
【第1回目】17:30　【第2回目】19:00

場所 ホテルグランヴィア京都(JR京都駅ビル内)
お食事……3F宴会場　イベント……5F宴会場

お一人様 5,000円

お問い合わせ：二ノ湯さとし京都事務所
お申し込み先：TEL 075-315-2228 FAX 075-315-2310

仲筋氏（前所長）新たなスタート

平成21年４月から約３年間、京都事務所で、秘書の教育や、事務所全体の統括をしてもらっていた所長の仲筋邦夫氏が３月末で退職されました。

４月からは、京都府電気工事工業協同組合の顧問として迎えられ、新たなスタートを切られることになりました。

引き続き二ノ湯事務所に対しても、大所高所からアドバイスをいただきますので、ご用命があれば気軽にお声掛けください。３年間のご労苦に感謝し、新天地での活躍を期待しております。

平成24年５月

参議院議員　二ノ湯　智

「日本真生塾」 第20回・第21回例会のお知らせ

平成24年5月28日(月)　18時～21時

平成24年6月25日(月)　18時～21時

場所：**龍谷大学アバンティ響都ホール**（京都駅八条口前アバンティ9F）

★今後のテーマは「戦後の日本」について進めてまいります。

<お問い合わせは事務局へ>（担当：近藤）

TEL：050−7544−4018　メール：nihonsinseijuku@yahoo.co.jp

内容・年会費など詳しくはホームページをご覧ください。日本真生塾 で検索。

日本真生塾　塾長　**岡本幸治**

第63回自民党京都府連定期大会

平成24年度の自民党定期大会が次の日程で開催される。今大会は、衆議院の解散、総選挙が年内にも予想されている中で行われる。したがって総選挙に臨む自民党京都府連の総決起大会の意味もある。さらに、来年には参議院通常選挙が予定されており、党本部からは早急に次期候補者を選定するように通達が来ている。定期大会は候補者選定に係る重要な大会になる。今大会から、大会に出席できる支部代議員の数を、従来の20人に１人から10人に１人と規約を改正した。

記

◎とき・平成24年6月23日(土) 午後1時

◎ところ・京都産業会館8階　シルクホール

二ノ湯しんじを囲んでの温泉旅行

『伊豆稲取温泉と箱根』の旅 ご案内

◆日　　時　平成24年6月23日(土)～24日(日)

◆参 加 費　お一人様 33,000円

◆コース概要（予定）

23日：京都→浄蓮の滝→稲取温泉（銀水荘泊）

24日：稲取温泉→箱根関所跡（芦ノ湖遊覧船）→湖尻→京都

二ノ湯さとし後援会の皆様も是非ご参加ください

参議院議員　二ノ湯さとし事務所　TEL(075)315-2228　FAX(075)315-2310

身辺雑記

一、前田国土交通大臣、田中防衛大臣の問責決議案が可決された。法的拘束力がないとは言え、政治的責任は重い。自民党はじめ、野党は２人が辞任しない限り、各委員会の審議に応じない考えである。私も３度質問に立つように言われており、質問原稿は用意しているが、質問の機会がやって来ない。

一、石原東京都知事が領有権を巡って話題となっている尖閣諸島を所有者から買い取る意向を表明した。費用を広く募ったところ、５月15日現在、約６億１千万円が寄せられている。愛国心を持った国民が多くいることが分かり、ほっと一安心である。

一、学力テストの結果、生徒の理科離れが深刻であることが判った。技術革新、原子力、地震、津波、温暖化など今後理科の知識は必要であり、日本ではこの分野での専門家の育成は重要である。地震がこんなに騒がれているのに地学の教師の採用は殆んどないのが実態である。

一、マグニチュード７の首都直下型地震が起きた場合の東京23区での被害想定が発表された。建物の全壊、焼失約30万戸、死者約9700人、経済被害約112兆円に上るという。被害想定はいいが、さてこの被害を最小に食い止めるには、どうすべきかが書かれていない。

一、原発再稼働のお願いに枝野大臣が福井県に出向いた。予想されたが案の定、体よく断られた。立地県及び隣接の京都府、滋賀県知事の政府への不満は非常に大きい。それもこれも民主党政権の原発政策そして大臣の発言がコロコロ変わることに対する不信でもあるのだ。

一、政府の有識者会議「需給検証委員会」が今年の夏の電力需給の見通しを発表した。関西電力管内では、最悪の場合15・7％の電力不足が生じる。こんなことは最初から予想されていたことだ。今頃になって、厳しい数字を持ち出して、原発の再稼働をお願いしますでは遅すぎる。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円

郵便振替口座 01000−4−62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　１万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228